



平成22年5月25日

各 位

日本初となる『バイオガス都市ガス導管注入実証事業』において バイオガス精製装置を受注

大陽日酸株式会社（社長：松枝寛祐）は、バイオエナジー株式会社が都市ガス振興センターより採択された日本初となる『バイオガス都市ガス導管注入実証事業』において、バイオガスを東京ガス株式会社の都市ガス導管に注入するために、食品残さ由来のバイオガスから炭酸ガスを除去するための設備として、バイオガス精製装置を元請となる東京ガス・エンジニアリング株式会社より受注致しました。

受注したバイオガス精製装置は、東京都が整備した『スーパーエコタウン』（東京都大田区）内のバイオエナジー株式会社城南島食品リサイクル施設に設置し、施設内のメタン発酵処理プラントから発生するメタンガス60%と炭酸ガス40%の混合ガス（バイオガス）から炭酸ガスなどの不純物を除去し、東京ガス株式会社の受入基準に適合する安定した成分に精製するものです。

本装置は、2008年に実施した、バイオガスを都市ガスとして利用するための技術検証において、バイオエナジー株式会社城南島食品リサイクル施設に当社製テスト装置を設置した精製実験の結果を踏まえ設計されるもので、真空再生型のPSA（Pressure Swing Adsorption：圧力変動吸着）方式を採用し、特殊活性炭を充填した吸着塔内で炭酸ガスが吸着され、精製された高濃度なメタンガスが得られるほか、低コスト、コンパクトでありながら長期間の連続運転でも高い精製能力を維持でき、更に精製過程において空気等の不純物が混入しないなど、優れた特徴を有しています。

今回納入するPSA式バイオガス精製装置の能力は、1時間当たり210立方メートルの原料バイオガスから炭酸ガス・酸素ガス・水分を除去し、1時間当たり約88立方メートルのメタンガス濃度98%以上の精製バイオガスに転換致します。

この実証事業により、炭酸ガス相当で年間1,365トンの温室効果ガスの排出削減に貢献できるとしています。（装置納入：2010年7月、同年10月以降に稼働予定）

バイオガス利用については、これまでは精製したバイオガスの輸送コストが普及のネックとなっていました。都市ガス導管への注入が可能であることが確認、実証される事によりバイオガスの有効利用が大きく促進され、地球温暖化防止や省エネルギー面で貢献できると考えています。

当社では、都市ガスの代替利用を目的とした、様々なバイオガス精製設備の引合いが今後活発化するものと期待しています。

以上

本件に関するお問合せ先
大陽日酸株式会社
品川区小山1-3-26 東洋 Bldg.
総務本部広報部 田島
TEL 03-5788-8015